

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	朝日インテック株式会社大阪R&Dセ	階数	地上2F
建設地	大阪府和泉市あゆみ野二丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域、指定なし	平均居住人員	199 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,640 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年7月29日
敷地面積	3,573 m ²	作成者	一級建築士事務所 日晃設計
建築面積	1,809 m ²	確認日	2020年7月29日
延床面積	3,537 m ²	確認者	一級建築士事務所 日晃設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> 高寿命な材料を使用することで建物の耐久性に配慮し、省エネルギー化を図っている。 	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・評価対象外	<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数の長い配管材を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 将来の用途変更の可能性等を考慮し、空間のゆとりを配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・評価対象外	<ul style="list-style-type: none"> 消火剤や発泡剤は汚染物質含有材料の使用を避けた計画としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 燃焼機器の使用を避けて、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0054

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	朝日インテック株式会社大阪R&Dセンター						
	建設地	大阪府和泉市あゆみ野二丁目						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						評価対象外	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						評価対象外	
④	エネルギー削減						評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					-	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					-	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							